

アクションプランだより

令和8年1月29日
氷見市立宮田小学校

日頃より本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2学期末には、生活振り返りアンケートにご協力いただきありがとうございました。児童の自己評価、保護者の皆様の評価は次のような結果になりました。



〈児童自己評価〉

AP1

行事や教科の学習をがんばったと思う。

授業中、相手意識、目的意識を持って話をしたり聞いたりすることができた。

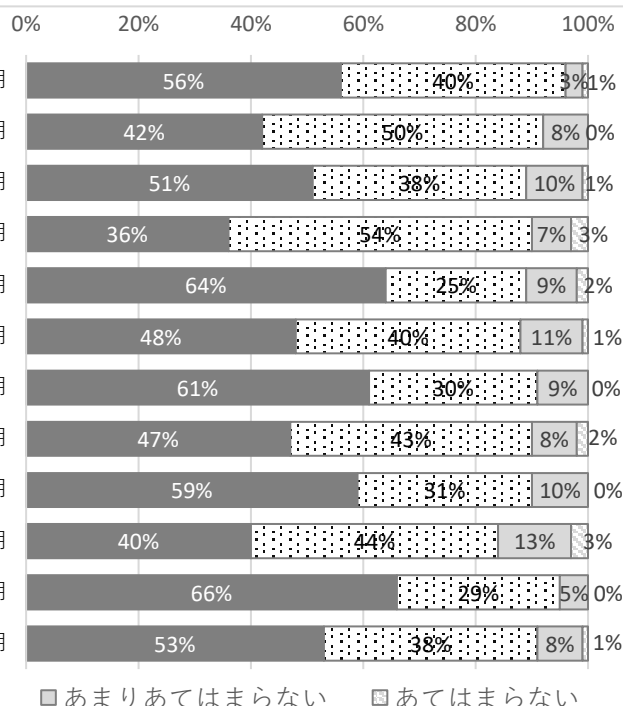
「話す・聞くタイム」では、ポイントを意識して活動することができた。

AP2

ほかほか言葉を意識して、つかうことができた。

進んで「チョボラ」を行うなど、学級や学校のために行動できた。

進んで、まじめに清掃活動に取り組むことができた。



■とてもよくあてはまる □だいたいあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない

〈保護者評価〉

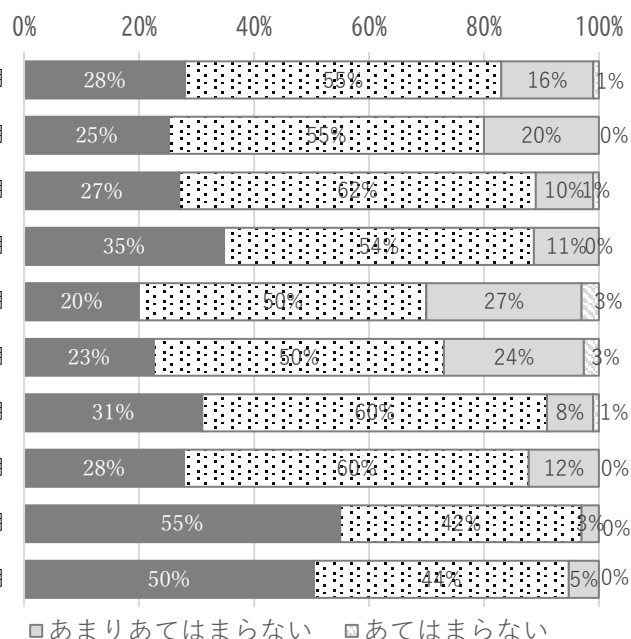
相手意識や目的意識をもって話したり聞いたりしている。

家族や友達等、相手の気持ちを考えて行動したり話したりしている。

家族や地域の人、友達等、場に応じた気持ちのよい挨拶をしている。

家族や地域等のために進んで行動している。

友達を大切にし、よいところを話している。



■とてもよくあてはまる □だいたいあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない

このアンケート結果を基に中間評価を行いました。

(評価基準 A…達成した B…やや達成した C…現状維持)

アクションプラン1(学力向上)			
目 標	視点を基に、相手意識・目的意識をもって話したり聞いたりする子供を 85%以上にする。		
方 策		評 価	
		中間	年度末
1	発達段階に応じた「宮田っ子話す名人、聞き名人」の視点を提示し、授業の折に触れ、自分の話し方、聞き方について振り返るようにする。	B	A
2	朝活動での「話す・聞くタイム」や学級や縦割り班での対話活動等、話す・聞く場面を多く取り入れ対話に親しめるようにする。また、その振り返りを放送で紹介し、よい姿を広める。	B	A
目標の達成状況についての評価	視点を基に、相手意識・目的意識をもって話したり聞いたりする子供を 85%以上にする。	B	A

アクションプラン2(豊かな心の育成)			
目 標	1 学級や学校のために進んで行動する子供を 85%以上にする。 2 相手の気持ちを考えて行動したり発表したりする子供を 80%以上にする。		
方 策		評 価	
		中間	年度末
1	「チョボラ」の時間を設け、進んで行動する機会をつくる。また、活動内容を共有し、奉仕の意識を高めていけるようにする。	B	A
2	ほかほかしたエピソードを放送で紹介したり、掲示したりし、思いやりの心を育てるようにする。	B	B
目標の達成状況についての評価	1 学級や学校のために進んで行動する子供を 85%以上にする。	B	B
	2 相手の気持ちを考えて行動したり発表したりする子供を 80%以上にする。	B	A

2学期以降、各方策を強化するとともに、全教員が全教育活動の中で意識して指導してまいります。今後ともご協力をお願いいたします。